

◆転職をお考えの方へ◆  
『経験不問』求人について

コロナウィルスの影響で、契約変更や自宅待機を命じられ、現在の仕事に不安を持ち、転職を検討中の方がおられると思います。

これまでと違う職種を希望されている方は、どのように自己PRしたらいいか不安だと思います。

求人票に『経験不問』とあるので応募したのに、うまくいかない・・・

事業所側としては、未経験の方を採用できる体制を整えていたとしても、応募者の中に経験豊富な方がいたら・・・経験が浅く補助業務のみを経験したという方がいたら・・・経験の多少、業務の中身に関わらず、少しでも早く仕事を覚えて独り立ちしてもらえるのでは、と期待して採用することになります。ということは・・・

『未経験』をPRするのではなく、少しでも『**経験者**』になれるよう、これまでの職歴の中に、応募先の仕事内容と重なる部分を探してみませんか。

例えば、これまで衣料品販売のお仕事をしてきた方でしたら・・・接客業務の中では、流行を把握しつつ、目標を設定し、売上を管理する、そのうえでお客様の要望を聴き、商品の説明や提案をしてきませんでしたか？これらは社会や市場の変化を敏感にキャッチし、お客様のために行動する営業職につながる部分です。

この他、レジ業務や在庫管理、受発注業務や伝票作成入力、チラシやポップ作り、他店との情報共有や連絡作業、電話対応やメール対応等の経験はありませんか？これらは社内の業務が円滑に進むよう周囲へのサポート業務を行う事務職に通じる部分があります。

『経験者』とは、どのくらいの経験があればいいのでしょうか？

大胆に回答するなら、3か月でも3年でも同じ『**経験者**』です。

ただし、在籍期間だけでは見えないもの・・・習得した技術やノウハウは、個人によって幅があります。

加えて、事業所が求めるスキル・経験については、組織の業務内容や人員構成等によって変わってきますので、ご自身が経験した業務内容を丁寧に見直すことが必要となります。

相談窓口では・・・

一緒に求人票を見ながら、ご自身の立ち位置と求人が求めるイメージをすり合わせていく作業をしていきます。

迷ったり分からないときは、ぜひ窓口までご相談ください。

「わかハロ」ナビゲーター